



# LEICA M10-P

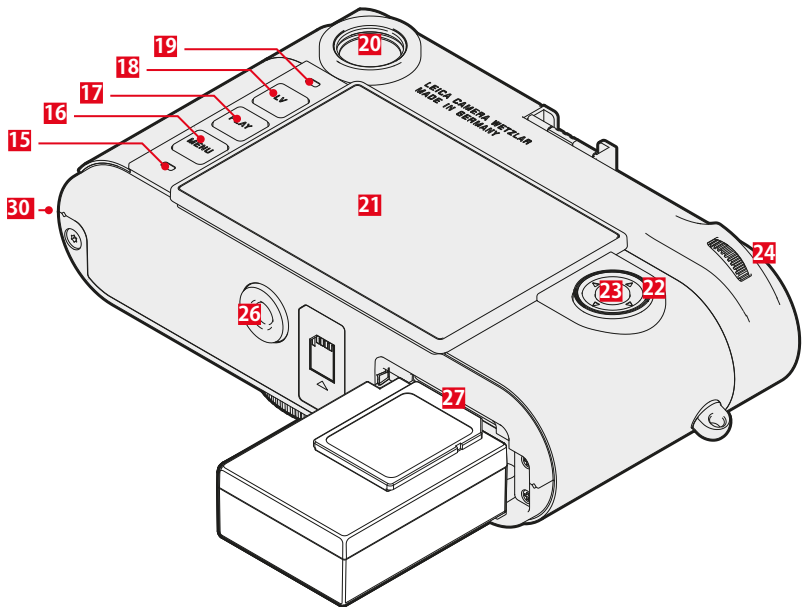
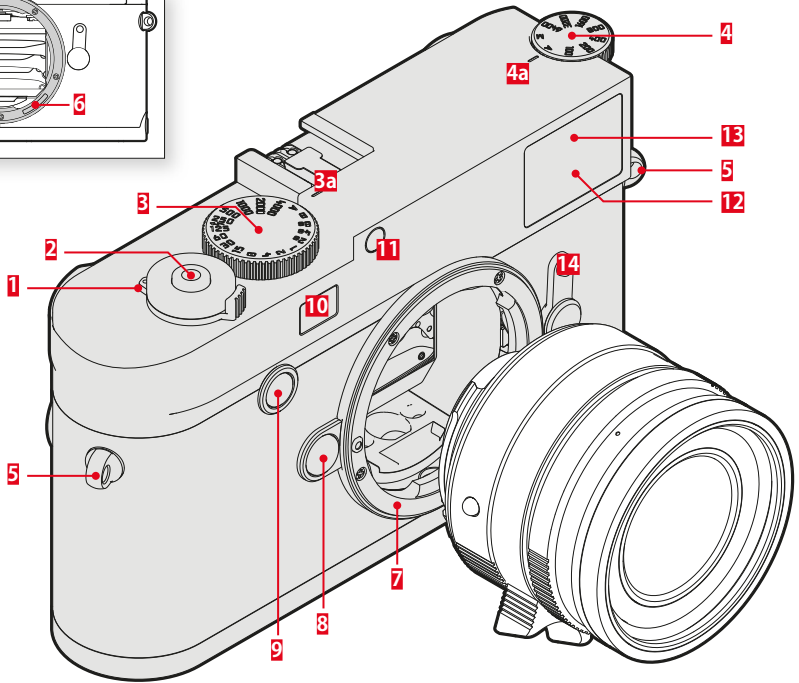
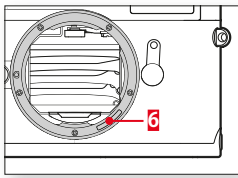
## クイックスタートガイド



取扱説明書(詳細編)は以下のリンクよりダウンロードしていただけます。  
<http://jp.leica-camera.com/Service-Support/Support/Downloads>

取扱説明書(詳細編)の冊子を無料でお送りいたします。ご希望の方は以下のリンクよりご注文ください。

[www.order-instructions.leica-camera.com](http://www.order-instructions.leica-camera.com)



## 上面

### 1 メインスイッチ

カメラの電源を入れる/切る

### 2 シャッターボタン

- タップ: 測光/露出を行う
- 全押し: 撮影を行う
- スタンバイモード時: カメラを起動する

### 3 シャッタースピードダイヤル(クリックストップ付)

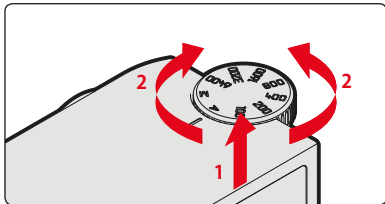
- **A**: シャッタースピード自動設定
- **8s - 4000**: シャッタースピード (1/2段ステップで設定可能)
- **B**: 長時間露光 (メニュー操作により8秒-4分の範囲で設定可、またはバルブ)
- **⚡**: フラッシュ同調速度 (1/180秒)

**a** 指標

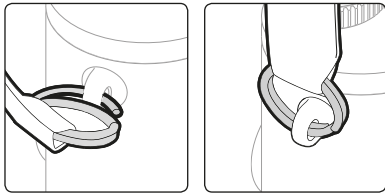
### 4 ISOダイヤル

- **A**: オート設定
- **100 - 6400**: ダイヤル上に示された値
- **M**: マニュアル設定

**a** 指標



### 5 ストラップ取り付け部

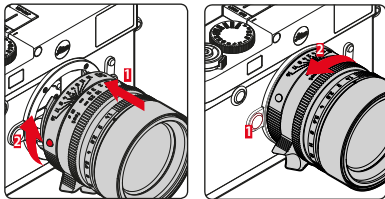


### 6 6ビットコード

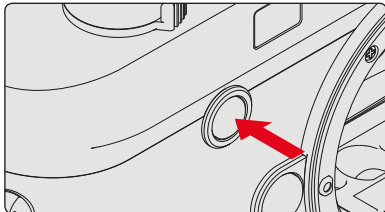
レンズ検出用センサー

### 7 レンズマウント

### 8 レンズ着脱ボタン



### 9 フォーカスボタン



### 10 距離計窓

### 11 輝度センサー

### 12 ファインダー

### 13 セルフタイマーLED

### 14 フレームセクター

ブライトフレームの組み合わせ:  
35/135 mm、50/75 mm、28/90 mm

### 15 LEDランプ

(データ読み込み/書き込み時)

### 16 MENUボタン

- お気に入り/メインメニューの呼び出し
- お気に入り/メインメニュー/サブメニューから撮影モードへ戻る

### 17 PLAYボタン

- 再生モード↔撮影モードの切り換え
- 全画面表示へ戻る

### 18 LVボタン

- ライブビューモードの切り換え

### 19 モニター用輝度センサー

**20** ファインダーアイピース

**21** モニター

**22** セレクターボタン

- メニュー内の移動
- 選択したメニュー項目/機能の設定
- 再生モード時の一覧表示画面のスクロール

**23** センターボタン

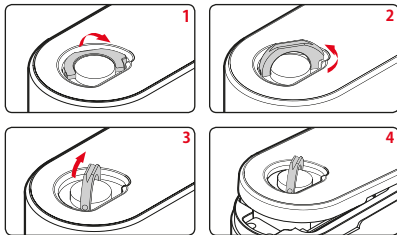
- 情報表示画面の呼び出し
- メニュー設定の決定
- 撮影時、設定内容の表示
- 再生時、撮影データの表示

**24** サムホイール

- メニュー内の移動
- 選択したメニュー項目/機能の設定
- 露出補正値の設定
- 表示中の画像の拡大/縮小
- 再生モード時の一覧表示画面のスクロール

底面

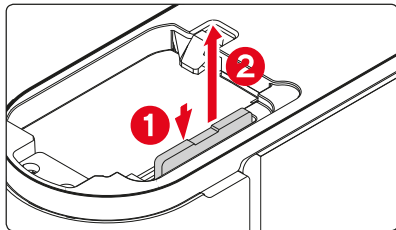
**25** 底蓋開閉つまみ



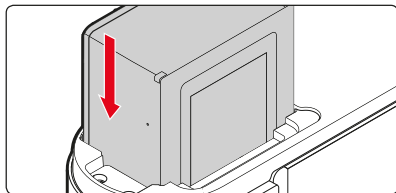
**26** 三脚用ねじ穴 A ¼

(¼インチ、DIN 4503に準拠)

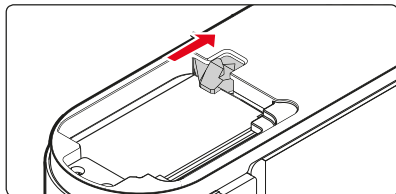
**27** メモリーカードスロット



**28** バッテリースロット

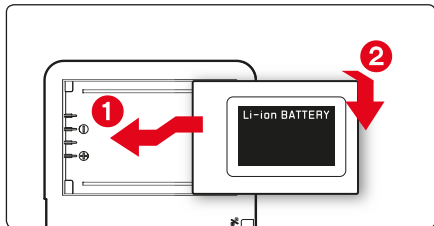


**29** バッテリーロックレバー



**30** 底蓋固定ピン

バッテリーを充電する

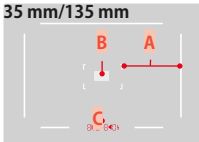


充電中は緑色のLEDランプが点滅します。充電が完了すると緑色のランプが点灯したままになります。

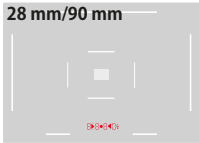
## ファインダーの表示

本機のブライトフレームファインダーは、非常に明るく、レンズに合わせて距離計が機能する距離計連動式です。距離計と連動するレンズは、焦点距離が16~135 mmのすべてのライカMレンズです。

35 mm/135 mm

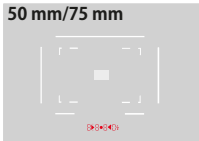


28 mm/90 mm



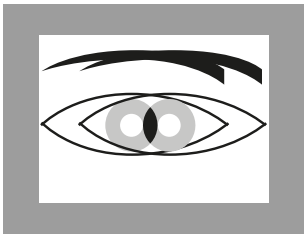
- A ブライトフレーム
- B フォーカシングエリア
- C デジタル表示

50 mm/75 mm

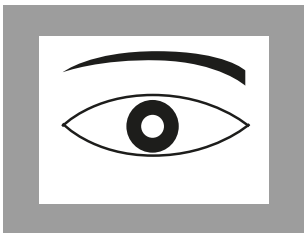


## フォーカスモード

### 二重像合致式

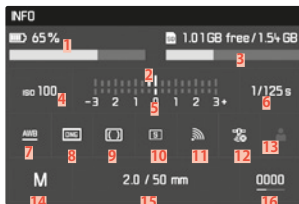


ピントが外れている



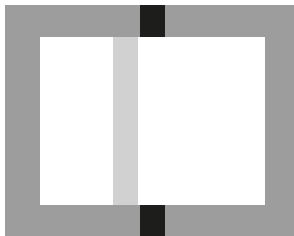
ピントが合っている

## モニターの表示

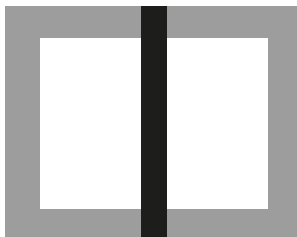


- 1 バッテリー残量
- 2 露出補正自盛
- 3 メモリーカード残容量
- 4 ISO感度
- 5 露出レベル
- 6 シャッタースピード
- 7 ホワイトバランス
- 8 記録形式/圧縮率/解像度
- 9 測光方式
- 10 シャッターボタン/ドライブモード設定
- 11 ワイヤレスLAN接続状況
- 12 GPSステータス
- 13 ユーザープロファイル
- 14 露出モード
- 15 開放F値/焦点距離、またはレンズタイプ
- 16 撮影可能枚数

### スプリットイメージ方式



ピントが外れている



ピントが合っている

## タッチ操作



タッチ



ダブルタップ



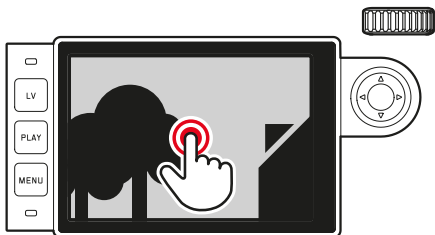
スワイプ



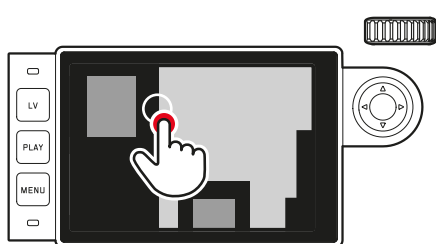
ピンチアウト

## 撮影モード

### ライブビューモード時のMFアシスト



### MFアシスト<sup>1</sup>と測光<sup>2</sup>のフォーカス点を設定する



<sup>1</sup> MFアシストはレンズを回すことで起動します。

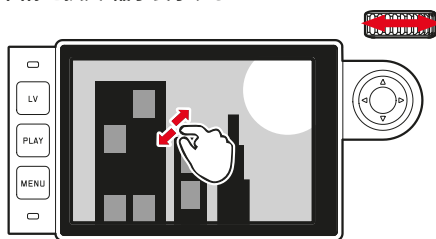
<sup>2</sup> スポット測光設定時のみ

## 再生モード

### 撮影モード⇔再生モード切り換え



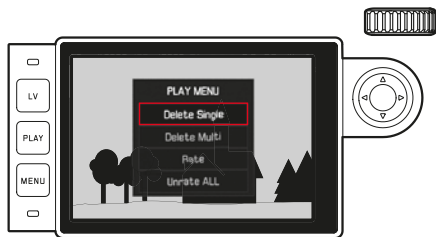
### 画像を拡大/縮小表示する



### スクロール



### 削除する/レーティングを付ける



その他の希望する機能の設定や、設定変更は、メニュー操作によって行うことができます。

## メニュー項目一覧

	初期設定 お気に入り	お気に入りに 登録可能な項目
レンズ検出		┆
ドライブモード	┆	┆
測光モード		┆
露出補正	┆	┆
フラッシュ設定	┆	┆
ISO設定	┆	┆ M-ISO も登録可能
ホワイトバランス	┆	┆
記録形式	┆	┆
JPG設定	┆	┆ JPG記録画素数 も登録可能
オートレビューを設定する		┆
キャプチャーアシスタント		┆
EVF/液晶画面の切替		┆
ユーザープロフィール		┆ プロフィール読み込み も登録可能
カスタマイズ		┆
ディスプレイの明るさ		┆
EVF輝度		┆
オートパワーオフ		┆
ワイヤレスLAN		┆
GPS <sup>1</sup>		┆
日付/時刻		┆
Language		┆
設定リセット		┆
SDカードフォーマット		┆
画像番号		┆
センサークリーニング		┆
カメラ情報		┆

<sup>1</sup> ビゾフレックス(電子ビューファインダー、別売りアクセサリ)装着時に登録可能なメニュー項目

# テクニカルデータ

## カメラ名称

Leica M10-P

## 形式

デジタルレンジファインダーカメラ

## 型番

3656

## 商品コード

20021 (黒) / 20022 (銀)

## レンズマウント

ライカ Mマウント

## 対応レンズ

ライカMレンズ、ライカRレンズ(アダプター装着時のみ)

## 撮像素子

CMOSイメージセンサー、有効面積: 24 x 36 mm

## 記録媒体

SDカード(1~2 GB)、SDHCカード(32 GB以下)、SDXCカード(2 TB以下)

## ファインダー

大型ブライトフレームレンジファインダー(パララックス自動補正機能付き)

## モニター

3.0型 TFT 液晶モニター(タッチパネル) 画素数: 104万ドット

## 電源 (Leica BP-SCL5)

充電式リチウムイオンバッテリー(定格電圧7.4 V、容量1100 mAh); 最大電力/電圧: DC 1000 mA、7.4 V; 動作環境(カメラ内): 0°C~40°C; 製造: PT. VARTA Microbattery、インドネシア製

## バッテリーチャージャー (Leica BC-SCL5)

定格入力: AC 100~240 V、50/60 Hz、300 mA、自動切り換えまたはDC 12 V、1.3 A; 出力: DC 7.4 V、1000 mA/最大 8.25 V、1100 mA; 動作環境: 10°C~35°C; 製造: Guangdong PISEN Electronics Co. Ltd., 中国製

## 本体

金属製: マグネシウムダイキャスト、合成皮革コーティング

本体上面、底蓋: 真鍮製、ブラックまたはシルバームッキ

## 寸法

139 x 38.5 x 80 mm

## 質量

約675 g(バッテリー含む)

本製品の製造日は、保証書または製品パッケージに貼付しています。表示形式: 年/月/日本書で説明する製品のデザインや仕様などは予告なく変更される場合があります。



# 本製品の取り扱いについて

## 一般的な取り扱い

- 強い磁気、静電気、電磁波を発生する機器（電磁調理器、電子レンジ、テレビ、パソコンのモニター、ゲーム機、携帯電話、無線機など）の近くで使用しないでください。磁気により記録データが影響を受けることがあります。
- スピーカーや大型の電動機などの強い磁気により、保存した画像データが破損することがあります。
- 電磁波の影響で、本製品が正常に動作しなくなった場合は、バッテリーを入れ直してから再度電源を入れてください。
- 無線送信機や高圧線の近くで使用しないでください。磁気により記録データが影響を受けることがあります。
- 小さな付属品（アクセサリーシューカバーなど）を保管するときは、次の点にお気をつけください。
  - 乳幼児の手の届くところに置かない
  - 製品パッケージの所定の位置など、紛失しない場所に保管する
- 電子機器は、人体に帯電した静電気の影響で不具合を起こす場合があります。合成繊維のカーペットの上を歩くなどすると、人体に大量の静電気が帯電します。導電性があるものの上に本製品が置かれていた場合は、本製品に触れると静電気放電がおこります。静電気が電子回路内に入らなければ、不具合は生じません。本製品は安全回路を装備していますが、安全のためアクセサリーシューなどの端子部には手を触れないでください。
- レンズマウントの6ビットコード検知センサーを傷つけたり汚したりしないでください。また、砂などがマウント部に入り込まないようにお気をつけください。マウント部を傷つけるおそれがあります。お手入れの際は、これらの部分を絶対にぬらさないでください。
- 端子部をお手入れする際は、綿やリネンの布をご使用ください。レンズ用のマイクロファイバークロス（合成繊維）は使用しないでください。お手入れの前には、水道管などに触れて静電気を放電してください。また、端子部の汚れやさびつきを防ぐために、レンズキャップやアクセサリーシューカバーを取り付けて、乾いた場所で保管してください。
- 指定されたアクセサリー以外は使用しないでください。故障、感電、ショートの原因になります。
- 本製品を分解・改造しないでください。修理は、ライカ指定のサービスセンターにて専門の修理担当者にご依頼ください。
- 殺虫剤などの強い化学薬品をかけないようにしてください。お手入れの際は、軽油、シンナー、アルコールも使用しないでください。薬品や溶剤によっては、本体表面が変質したり、表面の仕上げがはげたりすることがあります。
- ゴム製品やビニール製品は、強い化学物質を発生することがありますので、長期間接触させたままにしないでください。
- 雨や雪の中、または浜辺などで使用するときは、内部に水滴や砂、ほこりなどが入り込まないようにごお気をつけください。レンズ交換やメモリーカード/バッテリーの出し入れの際は特にお気をつけください。砂やほこりが入り込むと、本製品、メモリーカード、バッテリーの故障の原因となります。水滴が入り込むと、カメラやメモリーカードが正常に動作しなくなったり、修理できなくなったりすることがあります。

## レンズ

- レンズの正面に強い太陽光が当たると、レンズがルーペと同じ作用をします。太陽光とレンズの作用により内部が破損しますので、レンズを保護せずに強い太陽光に向けたまま放置しないでください。レンズキャップを取り付け、日陰に置く、またはケースに収納するなど、強い太陽光が当たらないようにし、カメラ内部が傷つかないようにしてください。

## バッテリー

- 指定以外のバッテリーを使用したり、本書の説明に従わずに使用しないでください。破裂するおそれがあります。
- バッテリーを直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、濡れた場所に放置しないでください。また、電子レンジや高圧容器に入れないでください。破裂や発火の原因となります。
- 濡れたバッテリーや湿ったバッテリーは、絶対に使用したり充電したりしないでください。
- バッテリーには安全弁が付いています。誤った使い方により内圧が上昇した場合、安全弁によって圧力が低下します。膨張したバッテリーは爆発する危険があるため、廃棄規則に従って、すぐに処分してください。
- バッテリーの端子部は清潔に保ってください。バッテリーはショートが起きにくいですが、クリップやアクセサリなどの金属類と接触させないでください。ショートしたバッテリーは発熱することがあり、やけどをするおそれがあります。
- バッテリーを落とした場合は、外装や端子部に破損がないか確認してください。破損したバッテリーを使用すると、カメラが故障するおそれがあります。
- バッテリーの使用中や充電中に、異臭、変色、変形、発熱、漏液などの異常に気づいた場合は、カメラやバッテリーチャージャーから直ちに取出してください。そのようなバッテリーの使用や充電を続けると過熱して、破裂や発火の原因となります。
- バッテリーは絶対に火の中に投げ入れないでください。破裂の原因となります。
- バッテリーが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火して発火するおそれがあります。
- 指定以外のバッテリーチャージャーを使用すると、バッテリーの故障の原因となるだけでなく、最悪の場合は死亡または重傷を負うおそれがあります。
- バッテリーチャージャーを使用するときは、コンセントの周りにほこりがたまっていないか確認してください。
- コンセントでバッテリーを充電しているときは、絶対にカーアダプターをバッテリーチャージャーに接続しないでください。
- バッテリーおよびバッテリーチャージャーを分解しないでください。修理は、ライカ指定のサービスセンターにご依頼ください。
- バッテリーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。バッテリーを誤って飲み込んでしまった場合、窒息の危険があります。

## バッテリーチャージャー

- バッテリーチャージャーを無線受信機の近くで使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。無線受信機から1 m以上離れてお使いください。
- 充電中に音がすることがありますが、異常ではありません。
- バッテリーを充電していない場合でも、コンセントに差し込んだままにしておくと、微量の電力を使います。使用しないときはコンセントから抜いてください。
- 端子部は清潔に保ってください。また、絶対にショートさせないでください。
- カーアダプターは12 Vの電圧にのみ接続できます。またコンセントでバッテリーを充電しているときは、絶対にカーアダプターをバッテリーチャージャーに接続しないでください。

## メモリーカード

- 画像の読み込み中や書き込み中は、メモリーカードを本機から取り出したり、本機の電源を切ったり、本機に振動を与えたりしないでください。
- LEDランプが点灯しているときは、カメラがメモリーカードにアクセス中です。バッテリー/メモリーカードスロットカバーを開けたり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりしないでください。メモリーカードに記録したデータが破損したり、カメラが故障したりするおそれがあります。
- 落としたり曲げたりしないでください。破損して記録データが消失する原因となります。
- メモリーカードの裏にある端子部に触れないでください。また、汚れやほこりが付着したり、水でぬらしたりしないようにご注意ください。
- メモリーカードは乳幼児の手が届かない場所に保管してください。乳幼児がメモリーカードを飲み込んで窒息するおそれがあります。

## 撮像素子

- 宇宙線の影響により(航空機内に持ち込んだ場合など)、画素に異常が生じることがあります。




## キャリングストラップ

- キャリングストラップは丈夫な材質によって作られています。乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。
- キャリングストラップはカメラまたは双眼鏡を持ち運ぶ目的でのみご使用ください。傷害の原因となる可能性があるため、他の用途では絶対に使用しないでください。
- ストラップが引っかかり、首が絞まるおそれがあり危険なため、登山やアウトドアスポーツの際には使用しないでください。

## カメラ情報

本製品の認証情報は、設定メニューから確認できます。

- ▶ メインメニューで**カメラ情報**を選択する。
- ▶ サブメニューで**認証情報**を選択する。

 交流電流 (AC)  直流電流 (DC)	 クラスIIデバイス (これらの製品は二重絶縁で設計されています)
--	--



## 電気・電子機器の廃棄について

(EU諸国および分別廃棄を実施するその他のヨーロッパ諸国のみ)

この装置には電気・電子部品が含まれているため、一般家庭廃棄物として廃棄することはできません。お住まいの自治体のリサイクル協力店にご相談ください。回収は無料となっています。電池や充電電池を使用する装置を廃棄する場合は、電池や充電電池を取り外してから回収場所にお持ちいただくか、必要に応じてお住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

廃棄についての詳しい情報は、お住まいの自治体、お近くの廃棄物回収業者、またはご購入店にお問い合わせください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B